

2023年6月30日

三井住友海上火災保険株式会社
三井住友海上あいおい生命保険株式会社

～社会課題解決と資産運用利益の両立に向けて～
環境エネルギー投資が組成するファンドへ投資

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（代表取締役社長：船曳 真一郎）と、三井住友海上あいおい生命保険株式会社（代表取締役社長：加治 資朗）は、株式会社環境エネルギー投資（代表取締役社長：河村 修一郎、以下、EEI社）が運用する、脱炭素等の社会課題解決を投資テーマとしたファンド（以下、本ファンド）への投資を決定しました。

当社グループは、気候変動をはじめとした社会課題の解決に貢献するため、ESG投融資に積極的に取り組んでいます。本ファンドへの投資を通じて、社会課題の解決に取り組むとともに、先進的なESG投融資のノウハウを蓄積し、SDGsの達成および持続可能な社会づくりに貢献していきます。

1. 背景・目的

本ファンドへの投資は、ESG投資の一環であるインパクト投資※の位置づけであり、計測可能な社会的インパクト創出と資産運用利益獲得の両立を目指します。

EEI社は、環境・エネルギー分野に特化した日本で唯一の独立系ベンチャーキャピタルで、脱炭素等の持続可能な社会の実現に貢献する革新的なビジネスモデルや技術を有するスタートアップ企業への投資実績を積み重ねています。

世界的に脱炭素の流れが加速する中、脱炭素目標の達成に向けたイノベーションや事業創造を担うスタートアップ企業が存在感を増しており、本ファンドは成長が期待されるエネルギー・トランジション、モビリティ&トランスポーテーション、スマートソサエティを主要な投資領域としています。投資先企業の成長を通じた資産運用利益の獲得に加え、社会課題の解決ならびに社会的インパクトの創出が期待できることから、本年3月に三井住友海上が、6月に三井住友海上あいおい生命が、それぞれ投資を決定しました。

※運用収益の獲得と社会的インパクトの創出（環境問題のほか、社会問題解決を目的に含む）の両立を目指した投資

2. 本ファンドの概要

名称	EEI 5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合	
規模	218億円（2023年6月30日時点 出資約束金額）	
運用会社の概要	名称	株式会社環境エネルギー投資
	所在地	東京都品川区東五反田5-11-1
	代表者	代表取締役社長 河村 修一郎
	設立	2006年3月
存続期間	2022年9月15日～2032年12月31日の約10年間 （＋最長2年間の延長）	
主な投資対象	・脱炭素等の持続可能な社会の実現に貢献するビジネスモデルや技術を有するスタートアップ企業 ・2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて、抜本的なイノベーションに資するビジネスモデルや技術を有するスタートアップ企業	

＜ご参考＞本ファンドを通じて貢献すると期待される主なSDGs項目



上記項目のほか、スマートソサエティのテーマを軸に、幅広い社会課題の解決につながる企業への投資が行われることを期待しています。

以上